



田中家コレクション展 会場 京 七条仏所跡

2/18 (木) - 2/28 (日) 10:00 - 17:00 21,23,24日は休館日です

京都市立芸術大学移転先である
京都駅周辺に、平安時代から鎌倉
時代にかけて七条仏所と呼ばれ
たものづくりの場がありました。
令和になり、再びものづくりを学ぶ
京都市立芸術大学の生徒である
私たちが京町家「七条仏所跡」で
映像展示とともに暮らしの知恵が
詰まった生活品や歴史の魅力をご
紹介いたします。

七条仏所跡

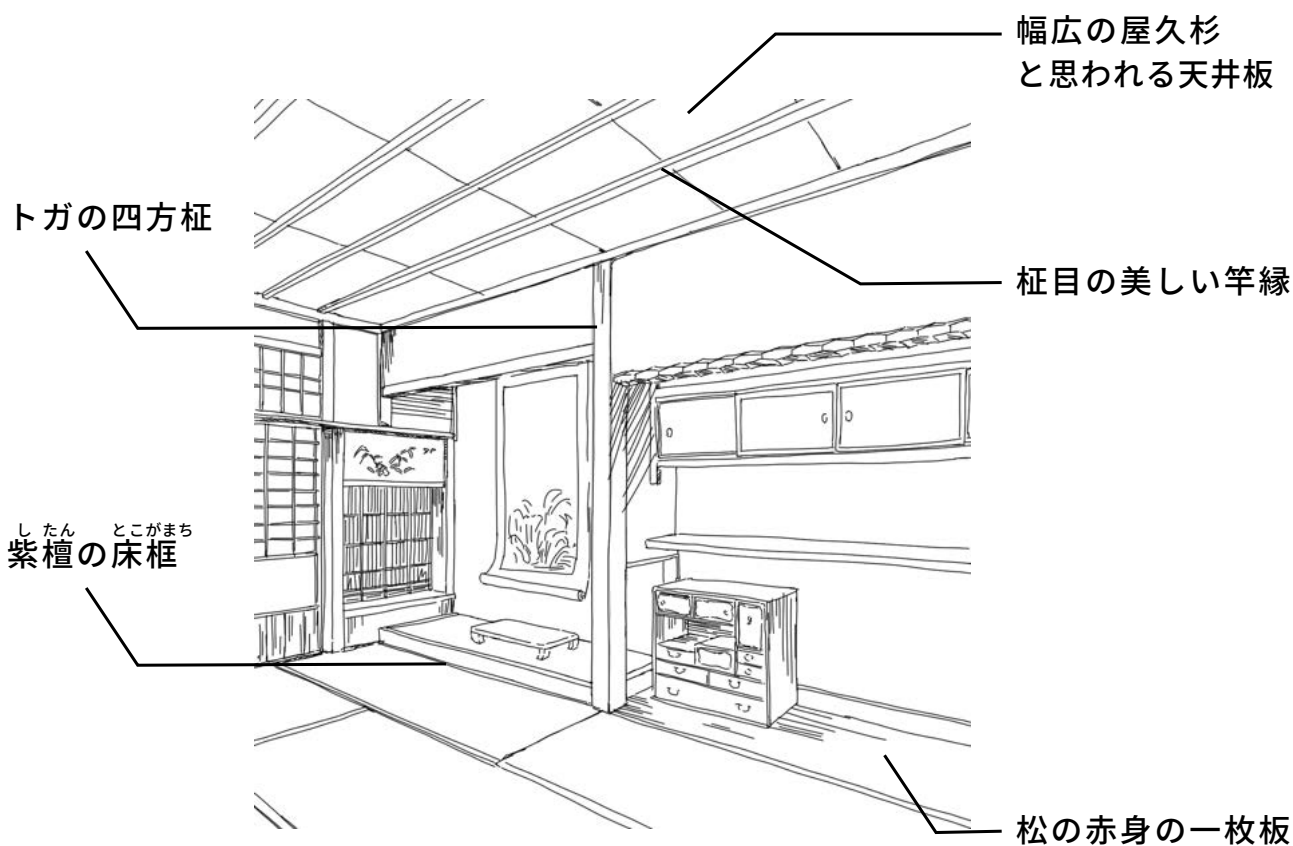
当家は七条通高倉角に位置し、
一帯は「七条仏所跡」と呼ば
れるかつて名だたる仏師が
集う場所でした。
明治28年、東本願寺御影堂
の再建時に資材置き場として
田中家の敷地を提供したこと
から、御礼として建築材料や
物品が払い下げられました。
現在でも、主屋の随所に東
本願寺に使用された貴重な
建築材料を間近で見られる
京町家です。

滅多に見れない 貴重な木材の数々

当家1階の座敷には希少な
柿の古木、黒柿が使われた
床框があります。また2階
の8帖客間の竿縁天井には
屋久杉と思われる幅広の板
が使われており、竿縁は桎目
が端から端まで真っ直ぐ
通った貴重で美しい材です。
美しい艶のある床框は唐木
三大名木の一つ、紫檀が使わ
れています。床脇の地板は松
の赤身で3尺幅の一枚板に
なっております。

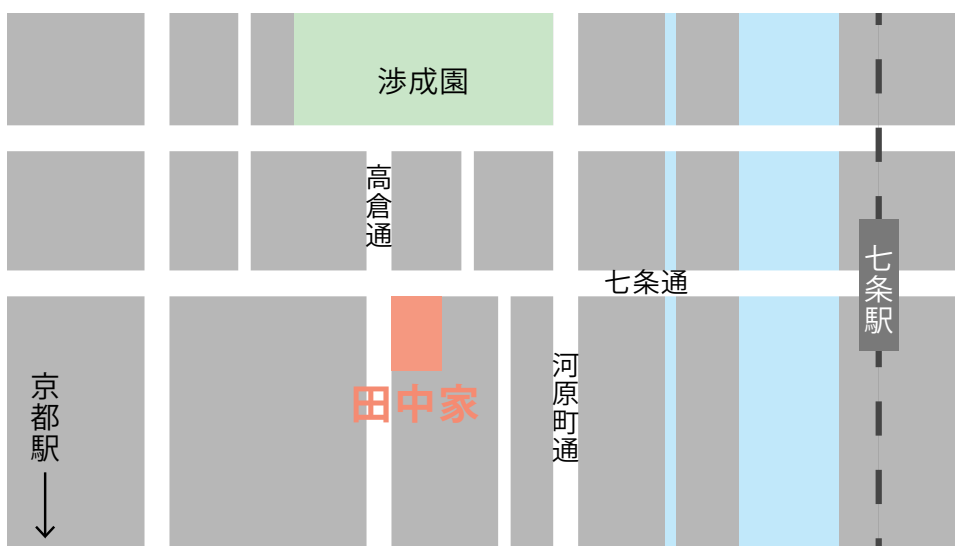
土地が繋ぐ ものづくりの歴史

京都市立芸術大学移転先で
ある京都駅周辺に、平安時代
から鎌倉時代にかけて仏像
の彫師が集った七条仏所と
呼ばれるものづくりの場が
ありました。令和になり、再び
ものづくりを学ぶ京都市立
芸術大学の生徒である私たち
が京町家「七条仏所跡」で、
映像によるインスタレー
ション作品と共に、暮らしの
知恵が詰まった生活品や
歴史をご紹介します。



インスタレーション 作品とコラボ

会場の蔵にて、切り絵アニメーションを用いたインスタレーション展示を行います。蔵は記憶と時間がゆっくりと降り積もった場所です。
長い間眠っていた様々な物たちに光を当て、海の底のような空間を演出します。



京都府京都市
下京区七条通高倉材木町485

京阪七条駅から西へ徒歩5分
J R京都駅から北東へ7分

認定NPO法人古材文化の会
【アクセス】

田中 堯さん(七条仏所跡所有)
a o t a k e

【王催】
京都市立芸術大学
七条町家物語プロジェクトチーム

無料

【入場料】

21日、23日、24日

【休館日】

2月28日(日)

2月18日(木)

2021年

【会期】